

令和2年度入学試験問題(前期)

国語

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 本冊子には、一から三までの3問題が印刷されていて、合計15ページある。
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙を別に配付している。解答は、解答用紙の指定された箇所に記入すること。所定の箇所以外に記入したものは無効である。
4. 解答の字数を指定している場合、句読点や符号やかっこ等もそれぞれ一文字分にかえる。
5. 解答用紙の指定された欄に、学部名および受験番号を記入すること。
6. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
7. 配付された問題冊子は、持ち帰ること。

著作権の関係上、省略します。

—
次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

(注)

- タルコット・パーソンズ — アメリカの社会学者。
- 浩瀚 — 本を構成するページ数が多いこと。
- セツルメント — 宗教家や学生などによる社会の下層に属する人びとへの社会事業。
- 当為 — まさになすべきこと。
- パレート均衡 — 資源が最大限に活用されている状態。

(北田^{きただ}暁大^{あきひろ}『社会制作の方法』より。本文の一部を改変)

問一 傍線あゝおの漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

あ 繁茂 い 携(わって) う 膨大 え 未曾有 お 繫(がって)

問二 傍線カゝコのカタカナを漢字に直しなさい。

カ キヨ キ トウタツ ク カクトク ケ ユウドウ コ ギセイ

問三 空欄 a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z を
か使わない)。

ア あるいは イ そして ウ しかし エ したがって オ また

問四 傍線1「この問いは、本質的に解答困難なものである」とあるが、筆者はその理由についてどのように考えているか。五十
字以内で説明しなさい。

問五 傍線2「パーソンス以前には、これは社会学の根本問題ではなかった」とあるが、パーソンス以前の社会学において秩序は
どのように捉えられていたか。本文から二十字前後で抜き出し、初めと終わりの五文字をそれぞれ書きなさい。

問六 傍線3「秩序がある、ということとはgood(善い)でありright(正しい)である」とあるが、それはどのようなことか。次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 秩序は人間社会のために保たれるべきで、その向上に資するものが法や政治だということ。
- イ 秩序は人間社会のために必要であるから、それを乱すものの排除が正義であるということ。
- ウ 秩序は社会にとって望ましい状態であり、その維持や回復が目指されるべきだということ。
- エ 秩序がないことは例外的な状態であるから、それは適切な手段によって回避すべきだということ。
- オ 秩序があることは人間にとって最善のことで、それを守るといふ信念は当然のものだということ。

問七 傍線4「社会科学の価値負荷性」とあるが、その内容を説明した文章として最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 社会科学は、「価値中立的」な科学という立場にあり、社会問題を明示化する学問だということ。
- イ 社会科学は、社会における負の循環の解消を目指すこと自体に価値判断を含んでいるということ。
- ウ 社会科学は、格差がもたらす不平等を明らかにし、社会を改良しようとする学問だということ。
- エ 社会科学は、これまで客観的なものと見せかけてきたと自覚する必要があるということ。
- オ 社会科学は、価値判断を含みこまざるをえないからこそ、秩序の成立要件を追究できるとということ。

問八 傍線5「パーソンズによる問題転換」とあるが、この内容を具体的に述べている箇所を、傍線5より後ろの本文から四十字前後で抜き出し、初めと終わりの五文字をそれぞれ書きなさい。

問九 傍線X「遡及的に考える」について、最も適当な意味を次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 筋道が通るように考える

イ 未来を予想して考える

ウ 現実に即して考える

エ 過去にさかのぼって考える

問十 傍線6「なぜパーソンズとミユルダールが併記されるのか」とあるが、その理由を「二人とも」に続けて三十五字以内で説明しなさい。

問十一 空欄

I

に入る言葉を本文から漢字四字で抜き出し、書きなさい。

問十二 傍線7『社会的なもの』への彼なりのコミット」とあるが、筆者によるとパーソンズは秩序をどのようなものとして捉えていたのか。本文の言葉を用いつつ、八十字以内で説明しなさい。

—
— 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

(『小男の草子』より)

(注) ○清水山 — 京都の東山にある清水寺。 ○小男 — 背が一尺(約三十センチ)の小さな男。

○十八日 — 清水寺の本尊である観音の縁日。この日は特に多くの人々が参詣に集まる。

○衣通姫 — 允恭いんきょう天皇の后。 ○菖蒲襲 — 表が青、裏が紅梅の着物の色目。

○かかり — 風情、様子。

問一 傍線1「さても是は人やらん」と女房が言ったのはなぜか。次のア～オの中から理由としてふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア その姿が、あまりにもみすぼらしかったから。

イ 顔を確かめても、全く知らない人だったから。

ウ 人が訪ねてくるような時間ではなかったから。

エ わずかな草に隠れるほど、大変小さい男だったから。

オ 草の中に隠れているなど、行動が変わっていたから。

問二 傍線A・Bについて、わかりやすく現代語訳しなさい。

問三 傍線2「主の女房、聞きて」について、小男の話を聞いた「主の女房」はどのように考えたか。次のア～オの中からふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア 自分の宿で働くことになると、京中の笑いものになるから困る。

イ 自分の宿に住まわせるからには、少しだけでも働いてもらいたい。

ウ ちょうど人手が足りなかったため、自分の宿で働いてくれると助かる。

エ 経営が大変苦しかったため、自分を和ませ、楽しませてくれると助かる。

オ 田舎者の小男が都で奉公したいなど、とんでもない高望みである。

問四 傍線3「世に従へば」の「世」とは何か。次のア～オの中からふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア 親子の縁

イ 男女の仲

ウ 世の道理

エ 世間のうわさ

オ 前世の因縁

問五 傍線4「袂もぬるるばかりなり」について、ここでの小男の心情を、五十字以内で説明しなさい。

問六 二重傍線a～dの動詞について、それぞれの終止形を、すべてひらがなで答えなさい。

問七 傍線5「美しとも申すもおろかなり」の意味について、次のア～オの中からふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア わざわざ言う必要がないほどの美しさである。

イ 美しいと申し上げるのは、馬鹿げたことである。

ウ 美しいなどと申し上げるのは、大変無礼なことである。

エ 美しいというには、あまりにもほど遠い様子である。

オ 言葉ではとても言い尽くせないほどの美しさである。

問八 文中の空欄

6

に入る適当な語を、次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア 光

イ 影

ウ 露

エ 塵

オ 花

問九 傍線7の歌を詠んだ時の小男の心情を、五十字以内で説明しなさい。

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい(設問の都合で返り点・送り仮名を省略したところがある)。

著作権の関係上、省略します。

(『列女伝』弁通より)

(注) ○芥 — 国名、現在の山東省一帯。 ○属 — 仲間。 ○合燭 — 灯あかりを持ち寄つて。 ○相従 — 次々に。

○夜績 — 夜なべで糸繰りをする。 ○妾 — 婦人がへりくだつて用いる自称。

○灑掃 — 掃き清める。掃除する。 ○蔽薄 — 破れた薄い敷物。

○東壁之余光 — ひとつの星の光ほどのわずかな明かり。東壁は星の名。 ○見哀之恩 — 愛情を示す恩恵。

○辞 — 訴えの言葉、主張、言い分。

問一 二重傍線 a・b・c について、送り仮名も含めて、読み方をひらがなで書きなさい(現代仮名遣いでもよい)。

問二 傍線 1 の現代語訳として最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア なにをおっしゃりたいのですか。

イ もうなんにもおっしゃらないでください。

ウ あなたのおっしゃるとおりです。

エ なんてことをおっしゃるのですか。

問三 空欄 **A**・**B**・**C**・**D** に入る最も適当な語を次より選び、それぞれ記号で答えなさい(それぞれの記号は一度しか使わない)。

ア 明 イ 先 ウ 暗 エ 後

問四 傍線2は「貧妾をして哀れまるるの恩を蒙るを得て、長く妾役の事を為さしめざる」と読む。この読み方に従って、返り点をつけなさい(送り仮名は不要)。

問五 傍線3について、君子は徐吾のどのような行いを評価しているのか、五十字以内で説明しなさい。